

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度第7回入間市環境審議会
開 催 日 時	令和5年3月10日(金) 午後1時30分 開会 ・ 午後3時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C 棟5階 501室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、川名 千鶴子、相葉 学、加治 隆、斎藤 令子、篠塚 玲子、高村 賢二、手島 吉紀、永井 健一、中島 毅、中村 巖、新関 隆、平塚 基志、森 友和(オンライン)
欠席委員(者)氏名	伊藤 雅道
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課 課長 竹廣 由美 エコ・クリーン政策課 主査 村上 俊 一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構 笠原 喜雄
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項 入間市地球温暖化対策実行計画(案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方 4 議題 入間市地球温暖化対策実行計画(案)について(答申) 5 事務連絡 6 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 入間市地球温暖化対策実行計画(案)、入間市地球温暖化対策実行計画(案)(概要版) 資料2 入間市地球温暖化対策実行計画(案)に対する意見書 資料3 入間市地球温暖化対策実行計画(案)について(答申)
事務局職員職氏名	【環境経済部】 部長 原嶋 裕子 副参事(脱炭素・資源循環担当) 中村 慧 【エコ・クリーン政策課】 課長 竹廣 由美、主幹 松落 義夫、主査 村上 俊、 主査 西村 卓也、主事 関根 千紘 【事務局支援】 一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構 笠原 喜雄 株式会社地域デザインラボさいたま 鈴木 健、宮本 悟
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 【報告事項】

資料2「入間市地球温暖化対策実行計画(案)に対する意見書」に基づき、事務局から意見の概要と市の考え方について説明を行った。

#### 【議題】

「入間市地球温暖化対策実行計画(案)について(答申)」について

議題については、事前配布である資料1「入間市地球温暖化対策実行計画(案)」、および「入間市地球温暖化対策実行計画(案)(概要版)」、資料3「入間市地球温暖化対策実行計画(案)について(答申)」に基づき、事務局から補足説明したうえで、審議委員による意見交換を行った。

以上

## 会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会(松落主幹) 黒瀧会長	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) (開会) (あいさつ)
司会(松落主幹)	これより議題に移ります。入間市環境審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長になる旨が定められておりますので、以降の進行を、黒瀧会長よろしくお願いいたします。
黒瀧会長	<p>本日の出席委員は14名です。入間市環境審議会条例第6条第2項の規定に基づき、委員の半数以上が出席されておりますので、本審議会は成立します。なお、本日の欠席の届け出は伊藤委員です。</p> <p>次に、本日の会議録の署名いただく委員を指名させていただきます。署名につきましては、川名副会長にお願い致します。</p> <p>続きまして、審議会については、情報公開条例に基づき基本的に「公開するもの」と定められております。なお、本日の会議に対し、傍聴希望者はおりませんでした。</p> <p>では、次第に沿って進みます。まず報告事項ということで、「入間市地球温暖化対策実行計画(案)に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局(村上主査)	<p>ご説明の前に、第5回審議会の際にご紹介が漏れており大変申し訳なかったのですが、本日も同席いただいている、一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構様におかれましては、第5回審議会の際にも、入間市地球温暖化対策実行計画(案)についてご説明、また質疑に対する回答をしていただきました。</p> <p>一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構様は本計画の策定、ま</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援(笠原)	<p>た本計画の内容に反映させている、再生可能エネルギー導入可能性調査について業務委託をしている法人組織となります。</p> <p>本日も宜しくお願い致します。</p> <p>改めまして、一般社団法人埼玉県域再生可能エネルギー推進機構の笠原と申します。本日は宜しくお願い致します。</p>
事務局(村上主査)	<p>では、報告事項の説明をさせていただきます。</p> <p>今回、令和5年1月10日から令和5年2月10日までの間で、本計画(案)に対するパブリックコメントを実施し、13名の方から31件の意見をいただきました。</p> <p>資料2に基づいて、ご説明させていただきます。時間の都合上、ここで全てのご意見について説明することは割愛させていただきますが、実行計画の中身に関して、また、数値的な課題に対するご意見に関しては、ご意見を踏まえまして、中身を修正させていただいております。また、それ以外に他部署にも関わる部分につきましては、他部署と情報共有をさせていただき、市として解決策を模索していく方針で回答を作成しております。そのほかにもたくさんのご意見を頂戴しておりますが、こちらにつきましては皆様のご意見を今後の市政、施策に反映させていただくよう回答致しております。</p> <p>報告事項は以上です。</p>
黒瀧会長	<p>ありがとうございます。今の報告事項について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>では、次に移ります。次第4 議題について、事務局より説明をお願い致します。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局(村上主査)	<p>事務局より説明します。</p> <p>(答申書の内容について読み上げ)</p> <p>なお、本日、参考資料として「入間市地球温暖化対策実行計画(案)(概要版)」をお配りしております。こちらは作成途中段階のものでございますので、中身については今後さらに精査を進めて参りますが、市民への PR 用としてリーフレットを広く配布する予定です。その中で、例えば「家庭部門」や「業務その他部門」のページにつきまして、こういった取組みをすれば、どれだけの削減効果があるかなど目に見えるような形で、市民、事業者に対して周知していくことが重要であると考えております。</p> <p>答申案については以上でございます。</p>
黒瀧会長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見はございますか。</p>
手島委員	<p>計画本編56ページの長期目標の数値について、「森林吸収」について今一度お聞かせいただいてもよろしいでしょうか。何の数値なのか、こういった計算で出した数値なのかについて、教えてください。</p>
事務局支援 (笠原)	<p>「森林吸収量」につきまして、計算根拠と致しましては、農林業センサスに記載があります現在の入間市における森林量に対して、吸収量を算定する上での係数を掛けた数値として算出しております。こちらは環境省の算定マニュアルにある計算方法での数値でございます。</p>
手島委員	<p>計算で算出した数値ということでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>はい。おっしゃる通りです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
手島委員	<p>森林吸収量を高めるための何か施策等は実施するのでしょうか。例えば、植樹をするなど。</p>
事務局支援 (笠原)	<p>まず、先ほどの係数や算定方法につきましては、46ページに記載させていただいております。</p> <p>また、現状、入間市では森林計画等の詳細計画の策定はないかと思われます。しかし、2050年までのそうした森林吸収量を上げていくような施策も必要であり、検討の余地があると思いますが、現在、定まっている施策はない状況です。</p>
手島委員	<p>数値の記載方法について確認ですが、2050年にマイナス表記となっているので、現在を基準として2050年までに記載の数値になるという理解でいいでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>現状の算定した森林吸収量が51ページの記載の数値となっております。</p>
平塚委員	<p>おそらく手島委員の疑問のところは、56ページにおける平成25年の森林吸収量が「－」横棒表記になっているので、わかりにくいというご指摘かと思えます。ここが仮にマイナス2,000ぐらいの数値ですと森林吸収量が年々減っているなという傾向が見えやすいと思えます。</p> <p>入間市の森林量の基準はどのように設定しているのでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>農林業センサスの統計データを基に算出しております。</p>
平塚委員	<p>詳細に森林吸収量を算定していくと、ここに記載されている数値が過大評価ではないかと思えます。記載の森林吸収量よりも1/5もいかないではないかという肌感覚です。ですが、現状数値はある程度意気込みの面も含めた数値で</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援(笠原)	<p>あると理解しています。</p> <p>ご意見踏まえて検討できればと思います。</p> <p>先ほどの横棒に関する記載について、横棒の記載としている理由につきまして、入間市において平成25年の算出基準の基礎データがなかったことよって、「算定できない」という表示として横棒にて記載させていただいた次第です。</p>
手島委員	<p>2050年の数値は計算できているように思えるのですが、平成25年の計算はできないということでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>はい。あくまで2050年の数値は現在の森林吸収量の数値を基にして表記した数値となっております。</p>
手島委員	<p>全体的に2050年に温室効果ガスの排出量がゼロになるように設定した数値に思える部分があります。</p> <p>国際社会全体の目標と合わせる部分もあると思うので、致し方ない面はあると思いますが。</p> <p>「森林吸収量」の記載をしないというのはいかがでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>確かに、自治体によっては「森林吸収量」の記載がない自治体もございます。</p> <p>しかし、森林計画等がない自治体でも算定マニュアルに従い記載している自治体もあります。森林計画等がある自治体については、間伐等も考慮した上で数値を記載しております。</p> <p>今回の場合は、森林計画等がなかったので、2050年の森林吸収量につきましては、算定マニュアルに従い算出致しました。</p> <p>ご指摘いただいた部分につきましては、再度詳細を詰めさせていただきご報</p>

発 言 者	発 言 内 容
手島委員	<p>告できればと思います。</p> <p>最近住宅にするために新光の木が伐採されています。計算をする過程で、木の伐採をコントロールするなどの施策が必要だと思います。現状のままでは、木は減っていくように思います。</p> <p>そういった状況も踏まえて、現状の数値を2050年の数値に記載するのは疑問点としてあります。</p>
黒瀧会長	<p>今のご発言に対してご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
黒瀧会長	<p>私から1点確認です。</p> <p>今の森林吸収量が2050年の産業部門等の温室効果ガス排出量の合計数値がイコールになっている認識で間違っていないでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>はい。その通りです。</p>
黒瀧会長	<p>森林吸収量に対して、先ほどの平塚委員のご助言などを踏まえ、何か施策が必要であるということになるかと思いますが、そこについては記載されていますでしょうか。</p>
事務局支援(笠原)	<p>本計画の中で植林等の施策の記載については、現在できていない状況です。ただ49ページの下段に自然環境の保全について記載させていただいております。ここにつきまして、より具体的に植林活動など何を行っていくのか、内容について詰めさせていただければと思います。</p> <p>併せて森林吸収量について、どのように記載していけばよいかを検討できればと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	改めて何かご意見のある方はいらっしゃいますか。
手島委員	かなり厳しい数値目標を掲げているなという印象です。そのため、しっかりと進行管理をしていく必要があると思います。例えば、年度ごとの数値目標や決まったタイミング、周期でのチェックなどが必要であると思います。
黒瀧会長	第7章の進行管理に関する部分のご意見だと思います。事務局より、改めて説明をお願い致します。
事務局(村上主査)	<p>説明させていただきます。</p> <p>まずは令和12年までのロードマップを作成しまして、74ページに計画進捗管理手法を記載しております。PDCAサイクルを回しながら、年度ごとの進捗管理を実施して参ります。</p> <p>長期の計画ですので、中間見直し等も検討しなければならないという認識です。現状で考え得る施策から、数年後に技術の発展等により、対応する施策が変わってくる可能性もございます。</p> <p>年度ごとにその時々々の社会情勢などを勘案しながら、PACA サイクルによる進捗管理を実施して参りたいと思います。</p> <p>また目標数値につきまして、お話にもありました通り、2050年の目標数値に関しては、現状の森林吸収量に合わせて各部門の目標設定をしているのが現状です。しかし、市民、行政、企業含めた全員で現状の目標に近づけなければならない、達成しなければならないという共通認識を持って事業を取り組んで参りたいと考えています。その点につきましては、ご理解とご協力をいただければと思います。</p>
手島委員	74ページ記載の計画進捗管理について、タイムスケジュールはどのように考えておりますでしょうか。PDCAサイクルをどのような頻度で回していくよてい

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>でしょうか。年度ごとにチェックするのか、2～3年ごとにチェックするのか、先ほどのように年度ごとであれば、そのように記載していただいた方が良いと思います。</p> <p>先ほどのロードマップについての確認です。</p> <p>実行計画のほかにロードマップが作成、提示されるという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局(村上主査)	<p>68ページにおきまして、大まかではありますがロードマップについて記載させていただいております。ロードマップについては、こちらを基に進めていければと思っております。これ以外にロードマップを作成するというような予定は現時点ではございません。</p> <p>また、先ほどご意見がありましたPDCAの回し方、頻度につきましても時間軸をしっかり提示した上で、実施できればと思います。またその時々々の財政状況も見ながら、施策の方は検討していければと考えております。</p>
黒瀧会長	<p>ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
平塚委員	<p>ロードマップにつきまして、前回はなかったと記憶しています。今回の資料を確認し作ったのだと思ったのですが、本来であれば、ロードマップの作成は年間通じて議論するぐらいの時間をかけることが必要ではないかと思っております。</p> <p>というのも、太陽光パネルのポテンシャルもそうですし、2050年の入間市の姿も変わっているはずかと思えます。となれば、この会議だけではなく、いろんな方々を巻き込んだ議論をしていく必要があると思えます。</p> <p>正直なことで申し上げますと、現在の内容でのロードマップは、議論をしていないので、除いた方が良いのではないかと思います。しかし、これをベースに議論</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	<p>をしていくということであれば、このまま記載しても良いと思います。</p> <p>進捗管理、PDCAを実施していくにあたり、年度ごとなどでのもう少し具体的な目標が必要ではないかという意見であると思います。その意見について、今回の答申に入れる必要があるかどうか審議したいと思います。</p> <p>答申案に入れるべき、入れるべきでないなどについて、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
黒瀧会長	<p>事務局に確認ですが、PDCAサイクルにおける進捗管理を環境審議会が実施することになると思いますが、他の活動と同様に毎年、確認していくという考え方でよろしいでしょうか。</p>
事務局(村上主査)	<p>はい。そのご認識の通りです。</p>
手島委員	<p>例えば、PDCAを毎年度回していくなど、PDCAを回す時間軸、スケジュール的なことを記載した方が良いと答申に盛り込んでも良いと思います。</p>
黒瀧会長	<p>その他ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>入れる必要はないのではないかという意見の方はいらっしゃいますか。</p>
平塚委員	<p>ロードマップに関しては毎年変えるものでないので、ロードマップについては毎年度の見直しは不要であると思います。</p>
手島委員	<p>ロードマップについて、毎年度PDCAを実施して見直しを図るというわけではなく、目標に対してブレイクダウンされた各施策の達成状況について、年度ごとや2～3年の間隔でもPDCAを回していくのがどうかという意見でした。</p>

発 言 者	発 言 内 容
平塚委員	その通りだと思います。
黒瀧会長	<p>環境審議会で進捗管理をしていく上では、毎年度で達成していくべき数値目標等がなければチェックができない部分もあると考えます。</p> <p>その観点からも、他の皆様のご意見を頂戴したいと思います。</p>
平塚委員	<p>少し観点が違うかもしれませんが、お聞きしたいことが2点あります。</p> <p>1点目は、51ページに太陽光の導入ポテンシャルの記載があります。一方で、2050年における家庭部門の太陽光発電設備の導入目標が70%と記載されています。家屋の70%に太陽光発電設備を設置することと、51ページの導入ポテンシャルと整合性が図られている数値でしょうか。</p> <p>2点目は、現在の設置率5.5%であり、8年度に40%になっています。この目標に対して、達成できるのかという点についてお考えがあればお聞きしたいと思います。</p>
事務局支援 (笠原)	<p>計算根拠として、家屋数についてはコンクリート造等の屋根は除き、一般の木造住宅、集合住宅の戸数を算出させていただき、そこからの導入量を計算させていただいた目標数値となっております。</p> <p>ご指摘の通り、実際70%の家屋に導入していけるのかという点につきましては、かなりハードルは高い目標であるという認識はしております。その中で、47ページに記載しております地域新電力会社による再生可能エネルギーの供給体制の構築し、主体性を持って取り組む組織による推進を検討しております。そうした色々な角度からの施策を複合的に実施することで、目標数値の達成に向けて活動していくことと思います。</p>
黒瀧会長	<p>では、先ほどの議事に戻ります。</p> <p>年度の目標値など具体的な目標について記載してもらいたいという旨につ</p>

発 言 者	発 言 内 容
相葉委員	<p>いて皆様からのご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>毎年ごとの評価については、環境審議会でも様々実施しておりますので、当然その中で議論していけばよいと思います。</p> <p>必ずしも、本実行計画に毎年度の目標を記載せずとも、入間市環境報告書に従って評価していく運営で良いと思います。</p> <p>実行計画では、実行性が重要ですが、財政措置について計画内で記載がないと思います。この実行計画を達成するにはどれくらいの予算が必要なのか、要求すべきなのかが見えづらいと思います。</p> <p>答申案にも財政的な予算措置についても盛り込んでも良いと思います。</p>
加治委員	<p>評価について、きちっとした数値がなければ評価もできないと考えています。評価する数値を整理する必要があると思います。評価の過程で目標数値を上回った、下回ったということは出してほしいと思います。</p>
斎藤委員	<p>2050年度の目標というのは、入間市だけのものではなく、世界全部で考えていかないといけない問題だと認識しています。今ここで、計画を上手につくったとしても履行できなければ意味がないと思います。</p> <p>他の自治体の策定状況も知りたいと思いました。実行がうまくいっている事例を参考にしながら、取り組んでいかないといけないと思いました。</p>
篠塚委員	<p>答申案の中には、具体的な内容の記載がされていないように思います。</p> <p>本当にこれからの入間市民、子どもたちのことを考えていること、入間市のありべき姿の検討が大事だと思います。</p>
高村委員	<p>基本的に、きちんとPDCAを回さないといけないとする手島委員に賛成です。一方で、高いハードルなわけでもあるので、会社としても取り組みを進めて</p>

発 言 者	発 言 内 容
手島委員	<p>いる中で、理想と現実に悩んでいる部分もあります。</p> <p>現実を知るということも大事なことだと思います。</p> <p>出来たか、出来なかったかを知るためにも具体的な目標設定をし、PDCAを回していくことが必要かと思います。</p>
永井委員	<p>世間でも太陽光パネルの導入が優先的に実施されておりますが、それだけで良いのかなと気持ちがあります。そのため、答申案についてまでの考えに至らない部分もあります。</p>
中島委員	<p>茶業界からの意見として、茶畑、入間市の景観を守ることは生産者として、とても重要なことと思っております。しかし、茶業界は今厳しい状況にあります。また、お茶を作るにあたって、景観を守りつつも一方で、製造には重油を燃やしてエネルギーを必要としています。長い目でみて、それを削減できる、またクリーンなエネルギーにシフトしていくことができるかと言えば、今の業界からすれば厳しい状況かとも思います。茶業界目線からとしては、非常に厳しい目標であると思います。</p> <p>目標に向けて、一步一步足跡をつけていくような進め方の方が、分かりやすく、伝わりやすい内容になるのかなと思います。</p>
中村委員	<p>森林吸収量についての計算方法について理解が及んでいない部分があります。また、ロードマップについては、長いスパンの話になるので、時間をかけて検討した方が良いのではないかと思います。</p>
新関委員	<p>太陽光パネルを既存の住宅に設置という話ですが、例えば、耐震工事が必要であったり、瓦屋根などへの設置であったりと費用が多く発生する場合があります。そうした場合における行政の支援があるのか気になる部分であ</p>

発 言 者	発 言 内 容
平塚委員	<p>ります。</p> <p>また、家庭部門の削減率が非常に高くなっていると思いますので、答申案に市民に丁寧説明することとありますが、例えばEVへのシフトであるとか、交通代替手段についての行政からの提案であるとかなど行政的なテコ入れを示した方が良いと思います。</p> <p>下水処理について少し触れても良いのではないかと思います。</p> <p>実行計画に関して、少し急ぎすぎて作ってしまったかなという印象です。それが個別具体的な部分が見えにくいということに繋がっていると思います。</p> <p>4ページに計画期間が書かれていて、計画の見直しについては、計画の進捗や社会情勢を踏まえて実施しますと記載されています。例えば、ここに何年何月には必ず見直しますという風に記載しておけば、見直しのタイミングが必ず設けることにできると思います。</p>
黒瀧会長	<p>森委員から意見はありますでしょうか。</p>
森委員	<p>(ネット環境の都合上、意見を控える)</p>
黒瀧会長	<p>皆様のご意見ありがとうございました。</p> <p>活動に対して、具体的な目指す姿が見えにくいという意見が多くあったと思います。</p> <p>PDCAを回す上で、進捗の評価をするためのその時々目指すべき基準を提示いただきたいというものを答申案に入れていただきたい旨を審議会の意見としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

発 言 者	発 言 内 容
黒瀧会長	その他、答申案等に対して意見のある方はいらっしゃいますか。
斎藤委員	パブリックコメントの意見につきまして、多くの意見が来たことは市民の関心も高い問題なのだと思います。どのような年代の方からご意見が来たのかご提示いただけますか。本日でなくてもよいので、教えていただきたいと思います。
加治委員	<p>概要版につきまして、最後のページの写真について可能であれば差し替えが検討いただけないでしょうか。</p> <p>入間市で提供できる写真があれば、それを使用し、言いたいことをより具体的にイメージできる写真を使用した方が良いと思います。</p>
黒瀧会長	事務局のほうで確認をお願い致します。
新関委員	概要版につきまして、行政で率先して脱炭素に取り組むものと認識しております。しかし、削減率だけを見ると、家庭部門よりも低い数値になっております。どういう様に読み取ればよろしいでしょうか。
事務局 (竹廣課長)	行政の目標に関しましては、当初、削減率は46%で検討しておりまして、51%まで引き上げた経緯がございます。実現可能性について、行政について、公共施設の統廃合など、かなり精査した上での数値となっております。
黒瀧会長	<p>他にご意見はございますか。</p> <p>(意見なし)</p>
黒瀧会長	<p>なければ、以上で議題は終了します。</p> <p>答申案につきましては、審議した内容を反映させ、令和5年3月22日(水)に</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局支援 (笠原)	<p>副会長とともに市長へ答申したいと思います。</p> <p>それでは、議長の座をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>1点補足がございます。</p> <p>先ほど、森林吸収量のご審議の際の説明について、一部訂正させていただきます。入間市には、森林計画等がないとお伝えしましたが、森林整備計画はあります。しかし、その計画は森林吸収量を具体的に算出できるデータがないものでした。よって今回は環境省マニュアルに従い、森林吸収量を算定したという次第でございます。</p>
司会(松落主幹)	事務局より事務連絡をさせていただきます。
事務局(村上主査)	<p>事務連絡として事務局より次回日程について説明します。</p> <p>(次回日程について説明)</p>
司会(松落主幹)	最後に川名副会長から、閉会のご挨拶をお願いいたします。
川名副会長	(閉会のあいさつ)

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和 5 年 5 月 10 日	
議 長 の 署 名	黒 瀧 孝 彦
議長が指名した者の署名	川 名 千 鶴 子